



地域連携室 “あざれあ” 便り 29号

新年明けましておめでとうございます。旧年中は地域連携室「あざれあ」の活動に対しご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。今年も初心に戻り、地域のコーディネーターとしての活動に邁進していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



さて今月は、長年継続して開催されてきた「スウィート緩和ケア症例検討会」についてご報告したいと思います。

第7回 スウィート緩和ケア症例検討会



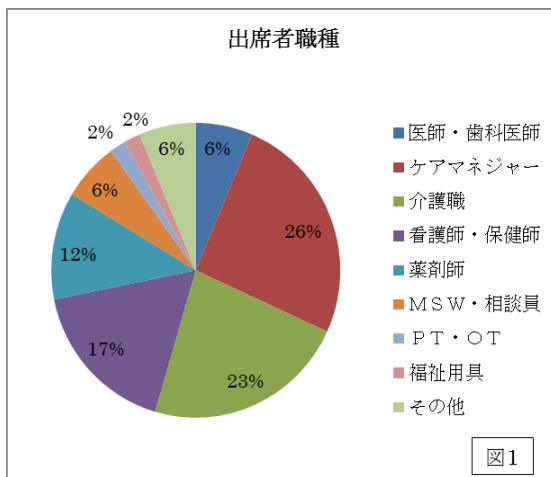
在宅緩和ケアに関わる関係者の質の向上とネットワークの推進を図ることを目的として、平成15年から広島県地域対策協議会の委託事業として始まった症例検討会も、今回で7回目を迎えました。途中平成18年度からは広島県中央圏地域対策協議会の事業として引き継がれ、他の地域が徐々に検討会を終了する中、東広島地区では緩和ケア推進協議会の委員長である高橋 宏幸先生をはじめとする先生方のリーダーシップにより、現在も継続しています。

今年も12月11日（木）に開催し、「希望だもん、叶えようよ。～独居高齢者の看取りの実践より～」と題してケアマネジャー、訪問介護、緩和ケアコーディネーターの立場から症例報告をしていただきました。



回を重ねるごとに参加者が増え、今回は108名となりました。（医師・歯科医師7

名を含む）また今回の特徴としては、報告者がケアマネ、ヘルパーであったことからか、看護師の参加が減り、介護職の参加が増えていることが挙げられます。報告後のグループワークでは、短時間に課題を整理しながら話し合いが進み、その後のまとめでは、発表者が要点をまとめて簡潔に発表され、会場全体から参加者の熱意が伝わってきました。長年培われた「症例を通して共に学ぶ」姿勢が感じられる研修会となりました。アンケートからも、今後の継続を望む声が多く挙がっていました。



（アンケートから一部抜粋）

*色々な問題を提起してもらった研修会だった。
*今後独居高齢者の看取りは増えてくるので参考になった。
*様々な職種の人と話をすることができ、顔の見える関係づくりができた。
*皆で考えると思いがけないアイデアが生まれる。
*東広島市の現状を知ることができた。
*退院前カンファレンスが重要。
*何でも、どんなことでも勉強になる。また参加させて欲しい。



平成 26 年 12/1 から 12/31 までの相談実績 (相談件数 : 20)

	月日	相談元	相談内容	支援経過・結果
1	12/1	訪問看護	発熱が続く患者に対する訪看の関わり方について	①医師との連携②本人・家族のアセスメント③カンファ開催提案
2	12/1	訪問看護	認知機能低下が認められる独居高齢者の訪問診療依頼	①経過・情報の確認②在宅医療ネットワークの紹介
3	12/1	包括	アルコール性肝障害患者の専門医について	アルコール治療及び肝疾患治療の専門医の紹介
4	12/1	居宅	複数の医病院を受診する患者の医療情報の収集について	主たる病院への受診同行を提案
5	12/2	MSW	ストマ管理が必要な低所得者の退院後の支援について	①使える制度の確認②ストマ外来受診提案
6	12/3	障害事業所	担当者会議への出席依頼	①会議出席②課題整理
7	12/3	居宅	デスケースカンファ出席依頼	①会議出席②課題整理
8	12/5	訪問看護	障害訪問介護・リハ利用について	制度確認、訪問リハ可能病院紹介
9	12/8	MSW	退院後患者に必要な医療材料	必要物品の紹介
10	12/8	訪問看護	訪看算定の妥当性について	報酬確認、訪問看護財団問い合わせ
11	12/9	訪問看護	医療保険対象患者訪問回数・時間	訪問看護財団問い合わせ回答
12	12/11	はあとふる	障害患者の緊急時訪看対応	医師の指示書があれば対応可能
13	12/12	包括	A地域での在宅医療ネットワーク登録医の情報提供依頼	在宅医療ネットワークより、推進医、連携医、協力医の紹介
14	12/12	市民(市役所→あざれあ)	アルコール依存の配偶者に対する相談	①訪問対応②医療機関受診及び仲間づくり提案③訪看情報提供
15	12/18	市民	積極的な治療を中止したがん患者のケアについて	担当医、あざれあへの相談及びNPOがん患者支援ネットワーク紹介
16	12/18	訪問看護	在宅での吸入薬管理について	在宅医との吸入薬検討を提案
17	12/19	はあとふる	糖尿病治療中患者の訪看導入	訪看利用可能。指示書依頼確認
18	12/19	訪問看護	指示書が出ている病院以外の医師の指示で点滴を行った場合の算定について	医師の指示書によって点滴を行ったのであれば算定可能
19	12/24	居宅	市外病院連携室との連携	対応困難な場合はあざれあが介入
20	12/24	包括	咳、不眠が続く患者の往診	主治医に往診確認することを提案

※ 今月は在宅医療ネットワークに関する問い合わせや紹介の機会がありました。包括等の在宅医療に関する期待のあらわれであると考えます。また相談元のトップは訪問看護ですが、毎月市民からの相談も続いています。

ACPアンケート協力をお願い

今月は今年度最終の医療機関に対するACPアンケート調査を実施させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

